



11月 学校だより

令和2年10月30日
横浜市立八景小学校
〒236-0021
横浜市金沢区泥亀1-21-2
Tel. 045-781-2434
校長

運動会～伝統を受けついで～

学校長

10月24日(土) 晴天の下、運動会が開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のために、徒競走・団体演技・低高学年リレー・応援合戦と種目数を減らし、午前中の開催となりました。また、参観者も人数を限らせていただき、日頃よりお世話になっている来賓・地域の皆さまをご招待できなかつたことは本当に残念でした。

しかし、このような中でも子ども達は「70年間の伝統を受けつぎ、優勝へとはばたこう」をスローガンに、6年生が中心となって下学年をリードし、素敵な運動会をつくりあげてくれました。児童席の形態や入場・退場の仕方、1・2年生の徒競走のコース、保護者のみなさまの参観場所など、これまでとは全く違う形での運動会でしたが、子どもも教職員も精一杯工夫して取り組みました。応援団は、大きな声は出さず扇を使って見栄えのする応援合戦を行ったり、団体演技では、それぞれの学年が距離を保ちながら工夫を凝らした演技を披露したりと、これまでとは違う状況を逆に発想の転換の機会として、新しい運動会が生まれたように思います。

特に高学年は、運動会が近づくにつれ士気が高まり、前日準備後の集まりでは「自分たちが最高の運動会をつくり上げる」という熱い決意のもと、応援団長の掛け声とともにオーッと気合を入れました。当日に向けて全員が高まっている様子に感動しました。当日の高学年の活躍は、本当に立派でした。練習時間も本番も短いながら、その分凝縮した、密度の濃い運動会になりました。この高学年の姿こそが八景小学校の伝統であり、受けついで欲しい姿です。

この運動会を通して、子どもは体験することによって大きく成長するということを改めて感じました。異学年とかかわり、一つのことに向かって力を合わせ、全力を出し切ることで一体感を感じたり、高学年への憧れ、信頼など多くのものを得たりして成長する姿がありました。次は70周年に向けて取り組んでいきます。「できるときに できることを 全力で」をめあてに心をひとつにして、ともに成長していきたいと思います。



10月の活動を紹介します

1年 初めての運動会

1年生にとって初めての八景小の運動会。演技の振り付けや隊形移動、徒競走の並び順など、覚えることがたくさんありましたが、練習を重ねるごとに、どんどん上手にできるようになりました。

当日は、練習した成果を発揮しようと、自信をもって、全力で取り組む子どもたちの姿が、みられました。たくましく成長した運動会での経験を、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。



2年 全力で、心を一つに

1・2年生の演技では、東京オリンピックにかけて、5色のポンポンを持ちながらの演技を行いました。選手のように、全力で、心を一つに演技をすることを目標に練習をしてきました。休み時間を使って積極的に練習する子どもたちの様子から、運動会に対する熱い思いが伝わってきました。

当日は、子どもたちの力が存分に発揮されていました。運動会を通して、一層成長することができたのではないかと思います。



3年 防災訓練（スモーク体験）

10月29日(木)に防災訓練を行いました。地震後に火災が発生したという想定での訓練でした。子どもたちは、静かに非常口を通りながら、安全に避難することができました。

3年生は、この訓練の後に金沢消防署の職員の方々の指導のもと火災時の煙体験を行いました。「体を低くして煙を吸わないように。」「両手で口を押えるのではなく、片手で壁を触りながら歩く。」など、

避難の仕方について指導していただきました。



4組 がんばった運動会

4組の子どもたちは、それぞれの学年の中に入って運動会に参加しました。振り返りのときには、「徒競走で全力を出して走った」「他の学年の演技も楽しかった」「応援団をがんばった」などの感想が聞かれ、半日の開催でしたが、それぞれの子どもが力を十分に発揮したことが感じられました。

事前の活動では、運動会の応援マークの色塗りをしました。みんなで協力して大きな絵を4枚仕上げることができました。



6年 やりきった運動会

小学校生活最後の運動会では、最上級生として、演技や競技、なかよし活動、運動会係と全力で取り組みました。運動会終了後の子ども達のすがすがしい表情は微笑ましい光景でした。

八景小の伝統であるソーラン節では、波をイメージしたフィニッシュがしっかり決まり、学年の一体感を見ることができました。「～70年間の伝統を受けつぎ、優勝へとはばたこう～」というスローガンをしっかりと意識し達成することができました。



4年 日帰り野島体験学習

10月12日(月)に野島体験学習に行ってきました。実行委員が休み時間に何度も集まってしおりをつくったり、全員でライフジャケットの動画を見たりと準備を進めました。また、5年生が一足早く野島でカヌー体験を行ったので、現場とzoomでつなぎ、リアルタイムで事前学習を行いました。初めての体験学習で不安がある児童もいたようですが、実際にカヌーに乗っている5年生を見ることで不安がワクワクに変わったようです。当日は、台風の後で風があったのでカヌーを実施できるか心配でしたが、無事全員欠席もなく体験することができました。カヌークラブの指導員の皆様に、パドルの使い方や方向転換の方法など丁寧に教わり、皆上手に乗ることができました。初めはぎこちなかったパドリングもみるみるうちに上達し、終わるころには自由自在にカヌーを操作する姿に感動しました。



5年 野島 代替 大体 体験学習

宿泊体験学習がなくなってしまい何か活動ができないか探っていた中で、せめて、宿泊の醍醐味の一つである、キャンプファイヤーを体験させたいと思いました。加えて昨年度に強風のためできなかった、野島でのカヌー体験と合わせて、「体験学習」を行いました。



当日は念願のカヌー体験を野島公園で行った後、学校に戻り、宅配のカレーライスでおなかを満たしました。そして日も暮れた6時から体育館で炎?を囲みながら、スタンツ(グループごとの出し物)で盛り上がりました。

子どもたちは心の底から盛り上がったり、楽しめたりしたようで、表情がとても輝いていました。今後もこのような状況に負けずに、学びを創っていけたら、と考えています。